

### (3) 事業継続に向けた取り組み

- ① 当事項については、新型コロナの影響で運用収入が大きく落ち込んだ令和元年度から、新たに項目立てをして記載しているが、令和2年度においても新興国の通貨安が進んだことにより、運用収入はさらに減少した。世界的に新型コロナの収束が見通せない中、今後においても厳しい経営環境が予想される。
- ② 一方、令和元年度より「今後の栽培漁業のあり方」について県と協議を進めてきたが、その結果、令和4年度から淡路事業場において現在生産しているクルマエビに替え、豊かな海の再生に有用なナマコとクマエビを本格生産する方針が示された。  
豊かな海魚種については県の委託により生産することになるため、協会の事業運営にとってもプラスに働くものと考えられる。  
なお、令和3年度においては、施設の改修などナマコの本格生産に向けた準備を進める。

## 5 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

注記に記載しているため省略

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	13,873,817	13,989,701	13,873,817	0	13,989,701
退職給付引当金	173,684,407	7,337,484		0	181,021,891